

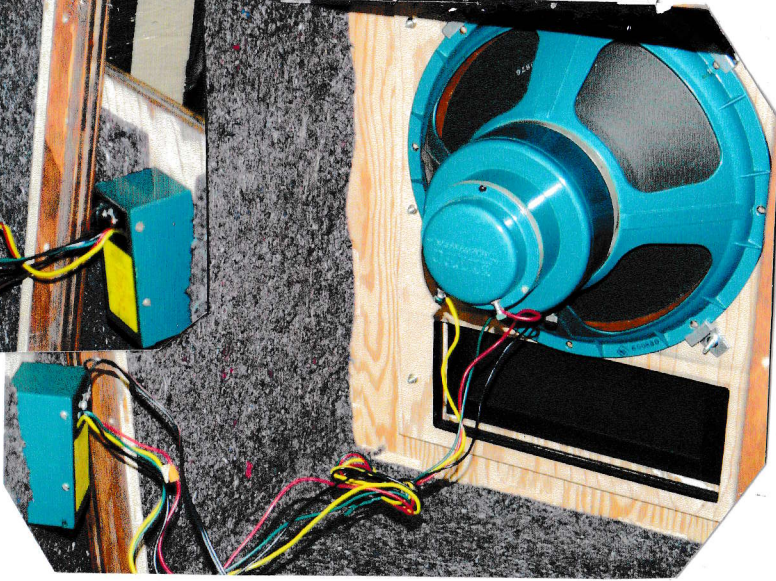
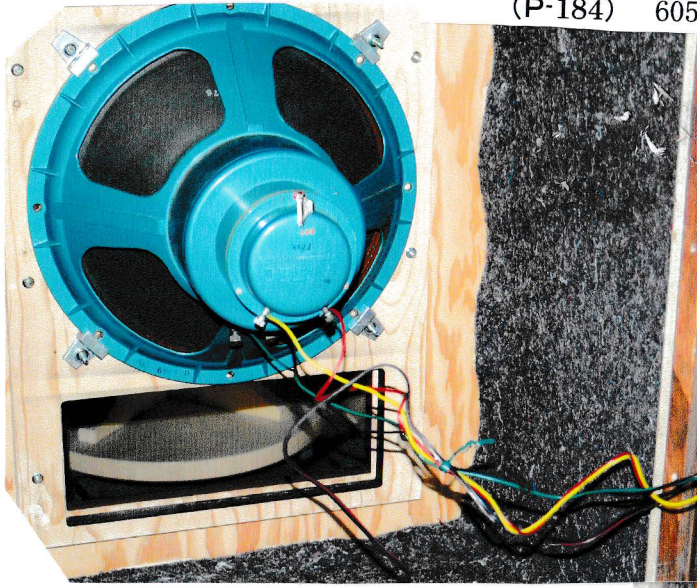


商品番号 161040

Description

612A WX 始期タイプモニタSP (P-184) 605A/1600B 600170/740 600840/744

Grade	Brand	Qty
AA,A,AB,B	ALTEC	2



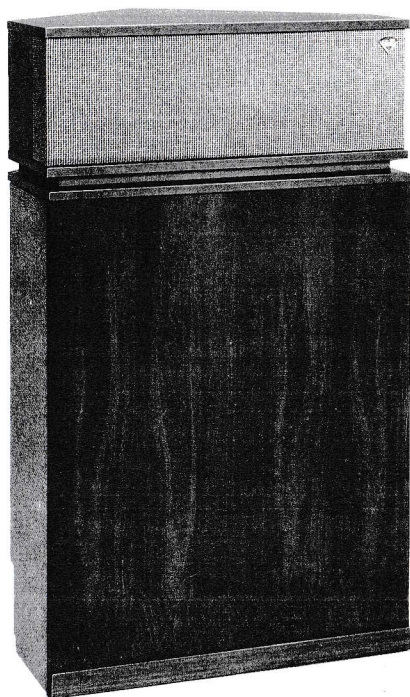
商品番号 161041

Klipschorn Original
 woofer K-33P 38cm
 scouker K-55V
 Tweeter K-77 N/W 400/6000

A Klips 2

¥1,100,000
 税込み 1本売価

Klipschorn®



原音再生に可能な限り近いものを提供するため、費用を惜しまずつくられたのがこのクリプシュホーンです。我々は、3つのホーン及びドライバーの使い方を解明し、複雑なこれらのホーンを注意深く、巧みに組み合わせています。この組み合わせが最もスムーズな再生を実現することは、コンビネーションテストによって証明されました。実際、我々は内外多数のドライバーのコンビネーションテストを行いました。もし、多くのスピーカーをつけ加えることで音が改善されるならば、そのようにしましょう。もし、現在採用しているドライバーユニットよりも性能の良いものがあれば、我々はそれを取り入れるでしょう。もし、コントロールを取り入れることによって改善されるならば、それも採用するでしょう。しかし、我々はこれらの余分なものが、再生の忠実度に関与しないことがわかりました。それらは単に原音の歪である、つくられたハイファイ音を生み出すだけなのです。クリプシュホーンを購入するとすれば、それは最後のスピー

カーシステムとなるでしょう。それは、世界中に数知れず存在するクリプシュホーンが、中古市場で取り扱われたことのないのでわかります。人々は基本的な設計に改良する余地がないため、クリプシュホーンを愛用し続けているのです。それゆえ、グレードアップはこのシステムが終点となるわけです。

ホーンスピーカーの原理は、最もシンプルなピストンポンプと比較して説明しましょう。湖の真中を上下するピストンが効果あるポンプと言えないように、部屋の空気を動かすオープンコーンスピーカーは、コーンの直径よりも波長の長い音を再生することができません。しかし、ピストンの回りにシリンダーを取りつけることによって、有効なポンプとなるように、振動するダイヤフラムにホーンを適正にマッチさせれば、大変有効なスピーカーとなり、機能を増大させ、その結果、歪が非常に少なくなります。ホーンの一部としてコーナーを利用する利点は、より長い波長の音を伝えるための大きな放射状空間をつくることのできることです。

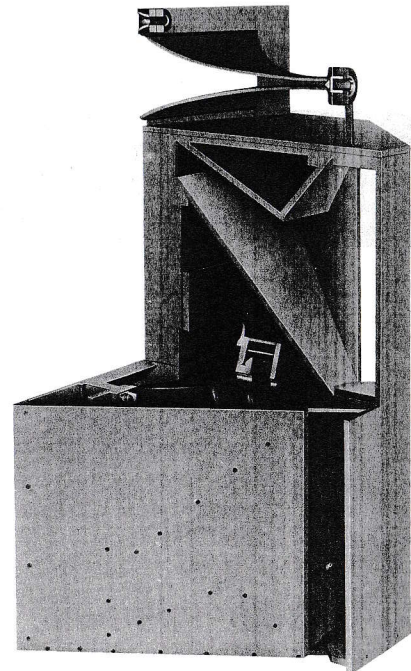
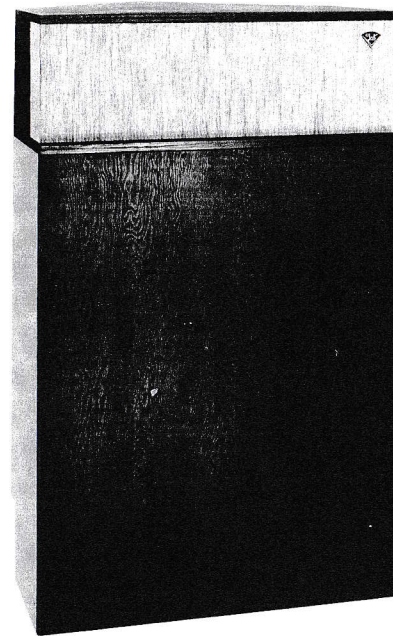
コーナーホーンのデザインはコーナーの床と壁、又は天井から音の反射をよび起こします。ふたつの壁によって起こされた反響は低域を1オクターブ広げます。いいかえれば、長い波長に対する能力を倍加するということです。

クリプシュホーンの低域ホーンは折り返しコーナー型。パイプオルガンの超低音を歪なく再生するのに充分な長さと容積を持っています。エネルギーは平均50%以上最高80%以上と抜群、公称10Wのアンプで得られる音響出力は3W以上です。周波数特性はクロスオーバーの400Hzまでフラットで、これは同サイズの他のスピーカーでは決して得られません。今まで、低域スピーカーの小型化はいろいろ試みられてきましたが、14.5mの波長をここまで小型化に成功した例はありません。低域ホーンは実質上エクスポーネンシャル(指数)ホーンとして設計されていますが、実際にはエクスポーネンシャルの広がり非常に近い値を持つよう、クサビ状の空間で構成されています。このホーンは近似エクスポーネンシャルといっても、理想のものと比較して40Hzで0.01波長以下の誤差しかありません。また、上限、下限のカットオフは適正なドライバーを使用した場合、28Hzと550Hzで、クロスオーバーは400Hzにとつてあります。この低域ホーンで最も重要な点は、折り曲げ部の半径を小さくして音の伝達経路を2方向にすることで、これにより波長3.4m周波数で750Hzまでの高域まで、ホーン内を伝わることを可能にしました。ホーンのスロートは高域の限界を決めるという意味で大変重要な要素です。材料

は硬質合板で、エクスポーネンシャルホーンの創始者A.G.ウェプスター氏の言う“空気柱の境としての適度な硬さ”を満たしています。部品は約140個のネジと金具で組み立てられた上、完全にノリづけされているので空気もれの心配は全くなく、ピークのない周波数特性を誇っています。

クリプシュホーンの中域ホーンは、扇型K-5シリーズの流れをくむK-400です。K-5よりさらに広い周波数帯域とさらに低いカットオフ周波数変差をもっています。(K-5はK-400の最初のモデルでU.S.特許2537141を取り、数多くのホーンの参考となっています) その使用帯域は下限のクロスオーバーを500~400Hzに広くし、上限のクロスオーバーを5K~6KHzに高めることができます。K-55Vのドライバーで周波数変差を容易に6dB(±3dB)としています。他の中域システムでは10dBの変差があります。

クリプシュホーンの高域ホーンはK-77です。ホーン型高域スピーカーユニットで、形及び品質を厳重にチェックした上でマウントし、アンサンブルテストをしています。K-77は可聴範囲を越えた音、芸術的な誇張又は超高音のピークなど



を自然に再生します。ツイーターは一般に小さな寸法のため、それに相応した小さな変差をもっていますが、その変差は同一生産ロットのユニット間では10dBを越えています。演奏出力変差を平均化するために形を選んだ後、クリプシュ特許の測定器(ログレター)とプリューエルケアーの1/2インチマイクロホン(40KHzまでフラット)により、周波数レスポンスカーブをプロテクト生生産ラインに送っています。マイクロホンプロッターの端20KHzまでフラットです。ツイーターのドライバーとK-77のオーバーオール周波数変差は8dB(5K~19KHzまでの間)で、他のテストしたツイーターより変差と歪の小さいことが示されています。クリプシュホーン全てのモデルは音質的に同一であり、多くのスタイルを持ち、いくつかの仕上げが用意されています。スタイルB:最高級のグランドピアノに匹敵する高級ハードウッドの手仕上げです。濃い色から薄い色までのマホガニー、オイル及びラッカー仕上げのウォールナット、カエデ、ブロード色のブリマベラなど、神秘的な輸入ハードウッドがあります。スタイルC:スタイルBと同様の合板を用いていますが、低価格にするため仕上げの度合を減らして、サテンラッカー仕上げになっています。スタイルBにあるクラシック調を保ちながら、トップハウジングの下部のスピーカーを省いて一体化したシンプルな機構としています。スタイルD:飾りをなくしてホーンとしての機構のみを有するモデル。装飾はユーザーの手にたくされまので、建築家、インテリアデザイナー、装飾家などに最適のシステムです。

●使用ユニット: ウォーター-38* K-33P スピーカー- K-55V ツイーター- K-77 ●許容入力: 100W ●周波数帯域: 35-17,000Hz ●出力音圧レベル: 104dB / W(0.0024yn/ft² at 4 feet) ●インピーダンス: 16Ω ●クロスオーバー: 1:400Hz, 5KHz ●歪率: 1% ●寸法: 783(W) x 1320(H) x 724(D)mm ●重量: 90kg